

公 式 試 合 記 録



大会名： 2017 JOCジュニアオリンピックカップ
第47回全日本中学生ホッケー選手権大会

公益社団法人
日本ホッケー協会

試合番号 ⑮ 備考 女子 決勝 年 月 日 H 2 9 | 8 | 2 1 開始時間 11:30 場 所 メルヘンの森スポーツ公園 ピッチ 人工芝(W)

チーム名

今市中学校

栃木県

試 合	1	-	2
(前半)	0	-	2
(後半)	1	-	0
S O 戦	-		

チーム名

朝日中学校

福井県

先発	背番号	C/GK	氏 名	G	Y	R
✓	1	GK	福 田 雪 菜			
✓	2		大 嶋 芽 衣			
✓	3	C	鈴 木 そ ら			
✓	4		大 嶋 夏 実			
✓	5		早 川 佳 夏			
28	6		磯 亜 佳 音			
	7		松 山 碧 美			
10	8		柴 田 あ かり			
	9		桑 田 麻 南			
✓	10		大 類 あ ん り			
	11		阿 久 津 可 奈			
	12	GK	石 川 璃 那			

先発	背番号	C/GK	氏 名	G	Y	R
✓	1	GK	佐 々 木 み る			
✓	2	C	八 本 木 萌 心			
✓	3		宮 川 莉 穂			
	4		山 之 上 憂 伊			
✓	5		吉 田 未 唯			
✓	6		山 田 雪 羽			
✓	7		木 下 姫 依			
	8		田 村 知 以			
	9		宮 永 萌 絵			
	10		渡 辺 友 香			
	11		筧 香 夏			
	12	GK	野 村 花 音			

時間	No.	種									

時間	No.	種	時間	No.	種	時間	No.	種	時間	No.	種
8	5	FG									
14	3	PS									

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	順番	守備者	先・後	先・後	守備者	順番	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
										No.					No.											
										O/x					O/x											

監 督 手塚 崇

監 督 柳生 香奈

アンパイア 富山 喜正

アンパイア 福山 秀人

ジャッジ 高倉 万理

R. アンパイア 穴井 孟司

ジャッジ 小野 三千夫

T. O. 金藤 理恵

戦評記録用紙



公益社団法人
日本ホッケー協会

大会名： 2017 JOCジュニアオリンピックカップ
第47回全日本中学生ホッケー選手権大会

試合番号 ⑮	備考 女子 決勝	年 H 2 9	月 8	日 2 1	開始時間 11:30	場 所 メルヘンの森スポーツ公園	ピッチ 人工芝(W)
-----------	-------------	------------	--------	----------	---------------	---------------------	---------------

チーム名

今市中学校

栃木県

試 合	1	-	2
(前半)	0	-	2
(後半)	1	-	0
S O 戦	-		

チーム名

朝日中学校

福井県

先発	背番号	C/GK	氏 名	G	Y	R
✓	1	GK	福 田 雪 菜			
✓	2		大 嶋 芽 衣			
✓	3	C	鈴 木 そ ら			
✓	4		大 嶋 夏 実			
✓	5		早 川 佳 夏			
28	6		磯 垂 佳 音			
	7		松 山 碧 美			
10	8		柴 田 あ かり			
	9		桑 田 麻 南			
✓	10		大 類 あ ん り			
	11		阿 久 津 可 奈			
	12	GK	石 川 璃 那			

先発	背番号	C/GK	氏 名	G	Y	R
✓	1	GK	佐 々 木 み る			
✓	2	C	八 本 木 萌 心			
✓	3		宮 川 莉 穂			
	4		山 之 上 憂 伊			
✓	5		吉 田 未 唯			
✓	6		山 田 雪 羽			
✓	7		木 下 姫 依			
	8		田 村 知 以			
	9		宮 永 萌 絵			
	10		渡 辺 友 香			
	11		筧 香 夏			
	12	GK	野 村 花 音			

【戦評】

女子決勝戦は朝日中学校のセンターパスにより試合が開始された。天候は曇っているものの蒸し暑い状況。開始序盤は朝日が攻め、今市が守る展開。その後、両者PCのチャンスを得るも得点には至らず、広くパスを廻しながら得点の機会を狙う。試合が動いたのは8分。朝日5番吉田がサイドからゴールに切り込み、キーパーが弾いたボールを丁寧に決め先制する。その後も両者果敢にゴールまで詰めるがディフェンスが防ぐといった展開が続いた終盤14分。朝日がPCからPSのチャンスを得、これを3番宮川が決め追加点をあげる。今市も終了間際にPCのチャンスを得るも得点には至らず、2-0朝日で前半を折り返す。

後半戦は今市のセンターパスにより試合が再開。両者一步も引かず、激しい攻防戦が続く。19分には今市PCからシュートを放つも、ゴールポストに弾かれる。変わって今度は朝日にもPCのチャンスが巡ってくるが、これはキーパーがきっちり阻止する。その後も両者果敢にボールに食らいつき、緊迫したゲーム展開となって決勝戦に相応しい試合を進める。このまま終わるかと思われたが終了間際30分今市6番磯がゴール前でパスを受けシュートを決めるが、ここでタイムアップ。2-1で朝日が3日間の激闘を制し、全国の頂点にたった。